

## スタンドブルーパール(MIX108 & MIX109)置き換え方法

現在ヨーロッパにて使用されている原色

ヨーロッパ原色	置き換えパウダーパール
MIX109	PP901 ビオラファンタジー
MIX108	PP203 アークティックファイアー

計量調色時の使用について

Mix	詳細	個別重量(g)	積算重量(g)
STBLUE 152	SCHWARZ	436.8	436.8
STBLUE 191	TRANSPARENT	262.1	698.8
STBLUE 190	SPEZIAL-ZUSATZ	174.7	873.5
STBLUE 170	VIOLETT	44.9	918.4
STBLUE 109	CS=> MYSTIC VIOLET	42.3	960.8
STBLUE 121	PERLGRUEN	20.9	981.7
STBLUE 172	BLAU	12.0	993.7
STBLUE 101	XIR=> SATINWEISS	6.3	1000.0

この配合例の中に赤枠の MIX109 が 42.3g 処方されています。これは、PP901 を塗料化したものになります。

$42.3 \times 0.9 = 38.07\text{g}$  (MIX198 の量)

$42.3 \times 0.1 = 4.23\text{g}$  (PP901 の量)

まずは別途 MIX198 と PP901 をよく攪拌させて、少量ずつ配合に追加し、色味を確認します。

**一度に全量を入れてしまうと、効きすぎてしまう可能性がありますので、必ず少量ずつ混ぜて色味のご確認をお願いいたします。**

### 攪拌方法

① 別途粉パールと MIX198 を計量し、他の原色を入れずに、十分に攪拌させます。この時点での攪拌が充分でないと、パールの粉が溶けきれず、結局塗料が**使用できない状態**になってしまう可能性があります。

② 次に他の原色、バインダーなどを入れて、さらに十分に攪拌させてください。

(お薦め)

もしアクワイヤーの検索などで MIX108 や MIX109 などが入った配合を選択した場合、日本のカーメーカーの

カラーコードであれば、日本のデータを確認していただくことをお勧めいたします。ただし、万が一ヨーロッパ配合しかない場合は、恐れ入りますが、上記の方法をお願いいたします。

#### 微調色時の使用について

微調色でPPパール(パウダーパール)を追加したい場合、直接PPパール(パウダーパール)を計量済み塗料に混合しないで下さい。PPパール(パウダーパール)が混ざりきらない恐れがあります。

必ず、PPパール(パウダーパール) : MIX198=1:9の割合で、十分に攪拌してから微調色用としてご使用下さい。積算データは使用せず、個別配合をご利用下さい。

**繰り返しのなりますが、PPパールは計算上の全量は一度に入れてしまわず、少量ずつ別途計量した塗料と混ぜて、色味のご確認をお願いいたします。**